



古中だより「坂道」

くめざす生徒像>

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和7年度 第18号

7月 2日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 大高 文雄

「生徒会交歓会」



25日(水)の午後は、石川中学校で石川地区中学校の「生徒会交歓会」が行われ、本校からは生徒会長(佐川末來さん)と副会長2名(岡部星南さん、高木敢太くん)の3名が参加しました。

会の中では、各学校の取り組みを紹介し合ったり、レクリエーションをしてお互いの交流を深め、楽しい時間を過ごしました。参考になる



取り組みは、自校化を図り、生徒会活動のさらなる活性化を期待したいところです。

「前期中間テスト」終わる



先週の金曜日は、「前期中間テスト」を行いました。1年生にとっては、初めての定期テストだったので、期待と不安の中、テストに臨んだことと思います。今回のテストの反省をしっかりと行って(良かった点や改善する点の洗い出し)、次の実力テスト(7月14日)に生かしてほしいと思います。

子ども達が学習にじっくり取り組めるようにするとともに、指導する我々教師も今まで以上に個に応じた指導や支援ができるようにと、学習評価を2学期制にしました。

これに伴い、1学期の定期テストを例年より1週間遅らせ県南中体連の2週間後に設定しました。今までは大会から1週間前後に実施していたので、テストに向けた気持ちに切り替わってなかったり、学習時間が足りなかったりするなど、いくつかの課題がありました。【R5は6/19(月)、R6は6/21(金)に実施】

今回、県南中体連から2週間空けることで計画的に学習に取り組めるようにしました。特に、1年生は初めてのことで各教科の事前指導や家庭学習期間をしっかりと確保できたことはとても良かったです。

テスト終了後の子ども達の「雄叫び」や「笑顔」、「すっきりした表情」から、この狙いは的中したようです。特に、3年生は「やり切った感」「出し切った感」が全身から溢れていました。お疲れ様でした。【テストの点数にも表れていたら最高です!】

「思春期こころの健康講話」(1年生)



1日(火)の6校時は、1年生を対象に「しなやかな心を育てるストレスケアとレジリエンス」と題し、「こころの健康講話」を行いました。町健康管理セン

ターのご協力の下、「ふくしま心のケアセンター避難者支援センター」から2名の講師の方に来て



校いただき、講話をいただきました。ストレスケアやレジリエンスについて学び、逆境から回復するしなやかな心を育てる方法を学びました。また、その中で、困ったときや辛い時には自分の身近なところに相談することの大切さについても学びました。ふるどの子ども達には、町のシンボルである「杉」のように、心も体も強く、そして真っすぐに育ってほしいと願うばかりです。

最後に、今年度も町から生徒全員に「心のノート」を1冊ずついただき、配付しました。せっかくの機会なので、自分の心の声をノートに書き留めたり、日記にしたりするなど、有効に活用してくれると嬉しいです。